

2017年10月27日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

中国のシリコンバレーとして知られる深センに着目 「深セン・イノベーション株式ファンド(1年決算型)」を設定

～ 岩井コスモ証券、岡三証券、東洋証券が11月13日取り扱い開始 ～

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は、新たな技術や産業の創出に挑戦し、高い成長が期待される、深セン証券取引所に上場するイノベーション企業などに主に投資する追加型投信「深セン・イノベーション株式ファンド(1年決算型)」を11月30日に設定、運用を開始する予定です。岩井コスモ証券株式会社、岡三証券株式会社、ならびに東洋証券株式会社が11月13日から取り扱いを開始します。

なぜ、中国・深センなのか——。深センは1980年に中国政府によって経済特区に指定されて以降、飛躍的な成長を遂げてきました。深セン市政府は2009年以降、「戦略的な新興産業の発展計画」に基づき、さまざまな新興産業の誘致・育成に注力。多様な技術の集約地へと変貌を遂げた深センは、米国のシリコンバレーに匹敵する新たなイノベーション都市として、世界の注目を集めています。



深セン証券取引所は、国営企業などオールドエコノミーの企業が多く上場する上海証券取引所と異なり、IT(情報技術)やヘルスケアなどニューエコノミーの民間企業が多く上場しています。また、日本の東証マザーズ市場にあたる新興企業向け市場が設けられていることも特徴です。近年、中国では、各地に深センと同様のイノベーションハブが形成されており、有望なスタートアップ企業が数多く誕生しています。こうした企業の多くは、ニューエコノミー企業の集まる深セン市場での上場をめざすと言われ、深セン証券取引所は世界で最も株式新規公開(IPO)が多い市場の一つとして知られています。

「深セン・イノベーション株式ファンド(1年決算型)」は、こうした深セン証券取引所に上場されている、人民元建ての中国本土株式(中国 A 株)を主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。また、米国の金融商品取引所などに上場されている中国企業が発行する株式(預託証券を含みます。)にも投資を行ないます。大型株式だけでなく、中小型株式にも幅広く投資機会を求めます。

「深セン・イノベーション株式ファンド(1年決算型)」のマザーファンドの運用は、中国 A 株やアジア株式への投資に豊富な実績を有する日興アセットマネジメント アジア リミテッドが行ないます。深センに本拠を置き、中国本土市場に精通した融通(ロントン)基金管理有限公司から提供される情報も活用します。

日興アセットは今後も、投資環境の変化を迅速に捉えた質の高い商品の開発と優れた運用パフォーマンスのご提供に努めてまいります。

以 上

■手数料等の概要

お客さまには以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

- 購入時手数料： 購入時手数料率は、3.24%(税抜 3%)を上限として販売会社が定める率とします。
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
- 換金手数料： ありません。
- 信託財産留保額： ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬： 純資産総額に対して年率 1.674%(税抜 1.55%)を乗じて得た額
- その他費用： 目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率 0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。
※組入有価証券の売買手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者のみなさまがファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■リスク情報

投資者のみなさまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)のみなさまに帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者のみなさまに「深セン・イノベーション株式ファンド(1年決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した資料です。
- 当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客さまご自身でご判断ください。

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用や ETF(上場投資信託)を含むパッシブ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。

55年を超える実績を誇り、30以上の国・地域から集まる人材を世界9カ国・地域に擁して、200名超の運用プロフェッショナルが約20.6兆円の資産を運用しています。グローバルな視点を活かし、お客様のニーズにお応えする様々な商品の開発を推進するとともに、優れた運用パフォーマンスの実現を常に追求しています。銀行などの金融機関、証券会社、生命保険・損害保険、ファイナンシャルアドバイザーなど、国内外の計300社超の販売ネットワークを通じ、個人投資家の皆様や年金基金や金融機関など世界中の機関投資家のお客様に対して幅広いサービスを提供しています。

詳しくは、日興アセットマネジメントの [HP](#) をご覧ください。

* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役社員を含む。

** 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の2017年6月末現在のデータ。

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会